

参加費
無料

事前のお申し込みが
必要です

社会はここまで変わった。 学校はどう変わる？

=生成AI時代に学校は情報とどう向き合うべきか=

2026年

9月25日 金

17:00~18:30

オンライン（ウェビナー）

下記URL、または右記の二次元コードよりお
申し込みください。

<https://x.gd/9IMd5>



生成AIをはじめとするテクノロジーの進化により、社会や産業はかつてないスピードで変化しています。2030年を見据えた「情報・技術科」の議論が進む中、学校は子どもたちに何を教え、どのような力を育むべきなのでしょう。AIが当たり前となる時代だからこそ、情報の真偽を見極め、主体的に判断・活用する力を育む教育が重要になります。本セミナーでは、社会の変化を踏まえ、これからの情報教育の方向性と実践事例をご紹介します。

講師



Sana Kusaka

鷺見 圭祐

生成AIの普及により、知識を得ることや文章を作成することのハードルは大きく下がりました。一方で、私たちが日々接するデジタル情報空間には、偽・誤情報や誹謗中傷など、様々な課題も存在しています。こうした時代に求められるのは、自ら問いを立て、情報の真偽や価値を見極める力です。本セミナーでは、情報インテグリティ(※)調査の結果を基に、デジタル情報空間や生成AIとの向き合い方を整理しながら、今後、学校が担うべき役割と、子どもたちに育んでもらいたい力について考えます。

※情報インテグリティとは、情報の正確性・一貫性・信頼性を指します。

2021年に株式会社電通総研（当時 電通国際情報サービス）へ入社。2025年より、Quality of Societyセンターの研究員/プロデューサーとして活動。「科学技術が社会構造に与える影響」をテーマに、情報インテグリティや生成AIの活用に関する研究に取り組んでいる。

講師



Koki Okamoto

岡本 弘毅

2030年度から新設される「情報・技術科」は、学校教育における大きな転換点となります。これからは、知識を学ぶだけでなく、テクノロジーを活用しながら課題を発見・解決し、新たな価値を創造する力を育む教育も、教科指導と同じレベルで求められます。本セミナーでは、全国の学校で実践されている探究やロボッチャ®の事例を交えながら、「情報・技術科」を見据えた教育の考え方や、今から学校が準備しておきたいポイントについてお伝えします。

株式会社エデュソル代表取締役。STEAM教育やESD（SDGs教育）、グローバル教育を中心とした、多様な教育プログラムを提供。2020年には株式会社電通、株式会社TBSホールディングスとともに株式会社スコップを設立。学校・自治体・企業と連携し、2030年を見据えた次世代の学びづくりを推進している。

お問い合わせ先



育伸社

school-ik@ikushin.co.jp

主催：株式会社育伸社

協力：株式会社電通総研 株式会社エデュソル